

くさか景子の **ちよっ** よろしいですか！

と

毎月発行 県政情報紙 2009年7月 Vol 26

What's
New?

県議会 6 月定例会補正予算 緊急的に前倒しで可決！

一過去最大の842億円一

国で緊急経済危機対策として成立した 15 兆円の補正予算を活用し、県では、6 月としては過去最大の 842 億円の補正予算(国庫支出金 713 億、繰入金 87 億、県債 37 億)を組みました。約 561 億円は、2012 年 3 月まで 3 年の基金の積み立てで、今回の実質的な事業は約 281 億円です。緊急的な対策のわりには、基金積み立てが多いのは本末転倒の感があります。それだけ、緊急とはいえ、ばら撒かれた国の補正予算の使い道に、地方では従うほかありません。本来なら、緊急優先的に有効に税金を使うべきです。

●●○○ 主な事業 ●●○○

▼雇用・中小企業支援対策支援

県単独土木事業に 18 億円、公共事業等の追加 129 億円

緊急性の高い工事約 100 件を県内の中小企業に発注する。

▼保健福祉部関係

新型インフルエンザ対策 タミフル約 64 万人分 リレンザ約 62,000 人分備蓄(3 年間の前倒し)
16 億円

障害者施設、児童福祉施設、有料老人ホーム等スプリンクラー設置 約 5 億円

介護職員への報酬上乘せ 1ヶ月 1人 15,000 円 65 億円

自殺対策強化 1,4 億円

▼教育関係

県立高校の耐震化工事 9 億円 県立高校の地上デジタル整備など 17 億円 等



■■■■ 厚生常任委員会(日下所属)での質問(一部抜粋) ■■■■

介護現場を雇用の場として拡充させるため、介護職員の処遇改善に取り組む事業所の職員へ 1 人 15,000 円の助成として、非常勤職員を含む県内の介護従事者すべての人数の予算額が計上されています。今介護現場では、介護従事者の賃金が仕事のわりには上がらず、離職者が増えており、介護人材不足が問題となっています。今回の助成はありがたいと思うのですが、事業所の申請形式で、処遇改善計画提出や能力などのキャリアパスを要するなどハードルが高いともいえ、本来ならば、補正予算で手当とするのではなく介護報酬が 3% 上がっても報酬に反映されないという課題への根本的な施策が必要なものです。今回の国の 15 兆円の補正予算はやはりばら撒きともいえます。



茅ヶ崎市こどもセンター見学 一子育ての不安や発達の心配ごと相談処一

子育てをしているときは、いろいろな悩みが生まれてきます。落ち着きがない、うまく遊べない、言葉が気になるなどこどものこと、こどもをたたいてしまう、相談相手がいないなど親の悩み、ほんとに苦労します。こどもセンターでは、電話やメール相談、たんぽぽ教室という5ヶ月間の発達相談教室もあり個別の対応をしています。

近年、小学校のクラスに6.3%の軽度発達障害のこどもがいるといわれ、支援の必要なこどもたちのために県では、専門のコーディネーターの先生を各学校に配置しています。こどもセンター所長さんの話によると、発達の相談など療育相談件数は年々増えており、1歳を過ぎるとわかるといわれています。また、男の子が72%と多くなっているようです。原因は脳の機能障害以外、今のところはっきりはわからないそうです。支援が必要と考えられるこどもの早期発見、観察、支援など市家庭児童相談室、県児童相談所など各関係機関や医療機関と連携して、こどもたちのケアを行うとのことでした。そのこどもたちにあった家庭での育て方、集団参加方法など助言、支援を親切に温かくしている様子が伺えました。



また今は、核家族での子育てが多く、子育ての悩みを相談する人もいなく、母子が孤立して育児不安に陥るなどの事例もあり、よりよい子育て環境を整えるための政策が求められます。



こどもセンターの所長さん（左）と

子どもの相談など療育相談件数は年々増えており、1歳を過ぎるとわかるといわれています。また、男の子が72%と多くなっているようです。

原因は脳の機能障害以外、今のところはっきりはわからないそうです。支援が必要と考えられるこどもの早期発見、観察、支援など市家庭児童相談室、県児童相談所など各関係機関や医療機関と連携して、こどもたちのケアを行うとのことでした。

そのこどもたちにあった家庭での育て方、集団参加方法など助言、支援を親切に温かくしている様子が伺えました。



くさか景子のほっとコラム

勝又恒一郎氏と熱く語る！6月27日

いよいよ衆議院選挙が近づいてきました。迷走を続ける麻生自民政権に政権交代を迫る民主党。私は、15区で候補を予定している民主党 勝又氏をお呼びして、集会を開いた。市民生活をよくするために本当に民主党の政策がいいのか。参加者の多くは、勝又氏に思いのたけをぶつけた。年金問題、高速道路の無料化、日本は教育費が少ない、憲法改正か護憲か、環境問題、外交、防衛問題、子育て支援など……。勝又氏はどの質問にも真摯に答え、政権交代の重要性を訴えた。私は、こども、福祉、医療、教育に予算を配分し、特に弱い立場の人たちが救われる政治を作っていくためにも、勝又氏を応援している。

この選挙は歴史的な大きな転換点、それは私たちが決めるのです。

